

「第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果（案）」に係る対比表

| 業務実績（案）に関する評価結果（令和5年9月） | 業務実績に関する評価結果（案）（令和6年4月） | 修正理由 |
|---|--|--|
| <p>1 主旨 平成30年4月1日に地方独立行政法人法（以下「法」という。）の一部改正が施行され、業務実績評価の主体が評価委員会から設立団体の長である知事へ変更となったことに伴い、北海道では、法第28条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（以下「法人」という。）に係る第3期中期目標期間（令和2～6年度）の終了時に見込まれる業務実績に関する評価を、北海道地方独立行政法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見を踏まえて実施する。 なお、評価に当たっては、法人の基本理念の具現化を目指す自主的・積極的な取組を評価し、法人の業務運営等の質的向上に資することに配慮しながら、中期目標の達成に向けた法人の各事業年度における中期計画の実施状況を調査及び分析し、業務実績の全体について総合的に評価した。 <u>（なお、今回の評価結果は実績（案）に対するものであり、実績に対する最終評価は6年度に実施する。）</u></p> <p>2 評価結果 (1) 全体評価 ①総括 <u>令和2年度から令和4年度の3年間の業務実施状況についての確認等を行い、次の4項目に関し評価を行ったところ、Ⅳ評価（達成状況が良好である）が2項目、Ⅲ評価（達成状況が概ね良好である）が1項目、Ⅱ評価（達成状況が不十分である）が1項目となり、総合的に勘案すると、概ね良好であると認められる。</u> (略) ②業務の実施状況 (略) 「4 その他業務運営」に関する取組において、コンプライアンスの徹底については、毎年度、本部通知等により、法令遵守や不正行為の防止に取り組んだところであるが、3年間で酒気帯び運転が1件、速度超過が1件、不正に入手したソフトウェアの業務利用が1件、無断欠勤が1件発生した。<u>今後は、コンプライアンスの徹底に資する取組を繰り返し実施し、全職員に対して法令遵守意識の徹底を図る必要がある。</u></p> | <p>1 主旨 平成30年4月1日に地方独立行政法人法（以下「法」という。）の一部改正が施行され、業務実績評価の主体が評価委員会から設立団体の長である知事へ変更となったことに伴い、北海道では、法第28条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（以下「法人」という。）に係る第3期中期目標期間（令和2～6年度）の終了時に見込まれる業務実績に関する評価を、北海道地方独立行政法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見を踏まえて実施する。 なお、評価に当たっては、法人の基本理念の具現化を目指す自主的・積極的な取組を評価し、法人の業務運営等の質的向上に資することに配慮しながら、中期目標の達成に向けた法人の各事業年度における中期計画の実施状況を調査及び分析し、業務実績の全体について総合的に評価した。</p> <p>2 評価結果 (1) 全体評価 ①総括 <u>第3期中期目標期間のうち令和2年度から令和4年度における業務実績及び中期目標期間終了時（令和6年度）における中期目標の達成見込みについての確認等を行い、次の4項目に関し評価を行ったところ、Ⅳ評価（達成状況が良好である）が2項目、Ⅲ評価（達成状況が概ね良好である）が1項目、Ⅱ評価（達成状況が不十分である）が1項目となり、総合的に勘案すると、概ね良好であると認められる。</u> (略) ②業務の実施状況 (略) 「4 その他業務運営」に関する取組において、コンプライアンスの徹底については、毎年度、本部通知等により、法令遵守や不正行為の防止に取り組んだところであるが、3年間で酒気帯び運転が1件、速度超過が1件、不正に入手したソフトウェアの業務利用が1件、無断欠勤が1件発生した。<u>管理職員による職場研修の実施などにも取り組んでいるところであるが、今後は引き続きコンプライアンスの徹底に資する取組を繰り返し実施し、全職員に対して法令遵守意識の徹底を図る必要がある。</u></p> | <p>修正理由</p> <p>P 1 ・削除</p> <p>P 1 ・中期目標の達成見込みについて、令和5年度道総研業務に係る特記事項や令和6年度予定についても調査・分析を行ったため加筆</p> <p>P 4 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> |

| 業務実績（案）に関する評価結果（令和5年9月） | 業務実績に関する評価結果（案）（令和6年4月） | 修正理由 |
|--|---|--|
| <p>安全確保・リスク管理については、「道総研安全衛生管理規程」、「新型コロナウイルス感染症対策業務継続計画（BCP）」等に基づき、職員の安全及び健康の確保を図る取組を実施するとともに、安全管理の体制強化をはじめ、職員の安全確保・リスク管理に資する取組を実施しているものの、令和3年度に林業試験場内で作業中の職員が事故により死亡するという重大な労働災害が発生した。この労働災害を契機に組織全体で取組を進めている安全管理体制のより一層の強化について引き続き<u>進めていくとともに</u>、イベント等の開催にあたっては事故等の発生を未然に防止し、事故・災害等の緊急時の対応策についての取組を進める必要がある。</p> <p>情報セキュリティ管理については、情報セキュリティポリシーに基づきシステム機器の安全確保を図り、個人情報及び企業情報等の流出防止やデータの保全等、情報資産の管理を行っていたものの、職員による不正に入手したソフトウェアの業務利用の事実が発覚したことや、複数の外部あてにメールアドレスが流出する事故が発生した。<u>引き続き</u>、情報セキュリティポリシーに基づき、システム機器の安全確保を図るとともに、職員に対する研修・注意喚起を繰り返し行うことなどにより、部外者の不正なアクセス、職員等による改ざん・漏えいを防止するなど、情報資産の管理対策に真摯に取り組む必要がある。</p> <p>(略)</p> <p>(2) 項目別評価 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>(略)</p> <p>○研究開発の推進方向 ア 農業に関する研究推進項目（No. 5～7） ・優れた特性を有する水稲・畑作物などの品種開発と省力安定生産技術の開発においては、「きらら397」、「そらゆき」よりかなり多収で、移植後の水田でのいもち病の薬剤防除を省略できる、中食・外食向け水稲新品種「<u>空育195号</u>」を開発し、「きらら397」等に置き換わり生産現場で活用が見込まれる。また、水稲栽培において育苗箱当たりの播種量を増やして育苗期間を短縮する技術の導入で、育苗箱数が5割以上削減され労働時間を減らせることを示</p> | <p>安全確保・リスク管理については、「道総研安全衛生管理規程」、「新型コロナウイルス感染症対策業務継続計画（BCP）」等に基づき、職員の安全及び健康の確保を図る取組を実施するとともに、安全管理の体制強化をはじめ、職員の安全確保・リスク管理に資する取組を実施しているものの、令和3年度に林業試験場内で作業中の職員が事故により死亡するという重大な労働災害が発生した。この労働災害を契機に、<u>新たに「安全管理者会議」を設置するなど</u>、組織全体で取組を進めている安全管理体制のより一層の強化について<u>進めているところであるが、引き続き進めていくとともに</u>、イベント等の開催にあたっては事故等の発生を未然に防止し、事故・災害等の緊急時の対応策についての取組を進める必要がある。</p> <p>情報セキュリティ管理については、情報セキュリティポリシーに基づきシステム機器の安全確保を図り、個人情報及び企業情報等の流出防止やデータの保全等、情報資産の管理を行っていたものの、職員による不正に入手したソフトウェアの業務利用の事実が発覚したことや、複数の外部あてにメールアドレスが流出する事故が発生した。<u>引き続き</u>、情報セキュリティポリシーに基づき、<u>IT資産管理システムを構築し運用を開始しているところであり、引き続き</u>システム機器の安全確保を図るとともに、職員に対する研修・注意喚起を繰り返し行うことなどにより、部外者の不正なアクセス、職員等による改ざん・漏えいを防止するなど、情報資産の管理対策に真摯に取り組む必要がある。</p> <p>(略)</p> <p>(2) 項目別評価 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>(略)</p> <p>○研究開発の推進方向 ア 農業に関する研究推進項目（No. 5～7） ・「<u>ななつぼし</u>」「<u>ふっくりんこ</u>」「<u>ゆめぴりか</u>」の<u>開発が評価され、第77回北海道新聞文化賞を受賞するとともに</u>、優れた特性を有する水稲・畑作物などの品種開発と省力安定生産技術の開発においては、「きらら397」、「そらゆき」よりかなり多収で、移植後の水田でのいもち病の薬剤防除を省略できる、中食・外食向け水稲新品種「<u>そらきりり</u>」を開発し、「きらら397」等に置き換わり生産現場で活用が見込まれる。また、水稲栽培において育苗箱当</p> | <p>P 4 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> <p>P 4 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> <p>P 6 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> |

| 業務実績（案）に関する評価結果（令和5年9月） | 業務実績に関する評価結果（案）（令和6年4月） | 修正理由 |
|---|---|--|
| <p>し、生産現場において活用されるなどの成果をあげたことは評価できる。</p> <p>(略)</p> <p>第4 その他業務運営に関する事項</p> <p>(略)</p> <p>【項目別評価の主な課題、改善事項等】</p> <p>○コンプライアンスの徹底（No.45）</p> <p>・毎年度、本部通知等により、法令遵守や不正行為の防止に取り組んだところであるが、3年間で酒気帯び運転が1件、速度超過が1件、不正に入手したソフトウェアの業務利用が1件、無断欠勤が1件発生していることから、2評定とする。<u>今後は、</u>コンプライアンスの徹底に資する取組を繰り返し実施し、全職員に対して法令遵守意識の徹底を図る必要がある。</p> <p>○安全確保・リスク管理（No.46）</p> <p>・「道総研安全衛生管理規程」、「新型コロナウイルス感染症対策業務継続計画（BCP）」等に基づき、職員の安全及び健康の確保を図る取組を実施するとともに、安全管理の体制強化をはじめ、職員の安全確保・リスク管理に資する取組を実施しているものの、令和3年度に林業試験場内で作業中の職員が事故により死亡するという重大な労働災害が発生したことから、2評定とする。この労働災害を契機に組織全体で取組を進めている安全管理体制のより一層の強化について引き続き<u>進めていくとともに、</u>イベント等の開催にあたっては事故等の発生を未然に防止し、事故・災害等の緊急時の対応策についての取組を進める必要がある。</p> <p>○情報セキュリティ管理（No.47）</p> <p>・情報セキュリティポリシーに基づきシステム機器の安全確保を図り、個人情報及び企業情報等の流出防止やデータの保全等、情報資産の管理を行っていたものの、職員による不正に入手したソフトウェアの業務利用の事実が発覚したことや、複数の外部あてにメールアドレスが流出する事故が発生したことから、2評定とする。<u>引き続き、</u>情報セキュリティポリシーに基づき、システム機器の安全確保</p> | <p>たりの播種量を増やして育苗期間を短縮する技術の導入で、育苗箱数が5割以上削減され労働時間を減らせることを示し、生産現場において活用されるなどの成果をあげたことは評価できる。</p> <p>(略)</p> <p>第4 その他業務運営に関する事項</p> <p>(略)</p> <p>【項目別評価の主な課題、改善事項等】</p> <p>○コンプライアンスの徹底（No.45）</p> <p>・毎年度、本部通知等により、法令遵守や不正行為の防止に取り組んだところであるが、3年間で酒気帯び運転が1件、速度超過が1件、不正に入手したソフトウェアの業務利用が1件、無断欠勤が1件発生していることから、2評定とする。<u>管理職員による職場研修の実施などにも取り組んでいるところであるが、今後は、引き続き</u>コンプライアンスの徹底に資する取組を繰り返し実施し、全職員に対して法令遵守意識の徹底を図る必要がある。</p> <p>○安全確保・リスク管理（No.46）</p> <p>・「道総研安全衛生管理規程」、「新型コロナウイルス感染症対策業務継続計画（BCP）」等に基づき、職員の安全及び健康の確保を図る取組を実施するとともに、安全管理の体制強化をはじめ、職員の安全確保・リスク管理に資する取組を実施しているものの、令和3年度に林業試験場内で作業中の職員が事故により死亡するという重大な労働災害が発生したことから、2評定とする。この労働災害を契機に、<u>新たに「安全管理者会議」を設置するなど、組織全体で取組を進めている安全管理体制のより一層の強化について進めているところであるが、引き続き進めていくとともに、</u>イベント等の開催にあたっては事故等の発生を未然に防止し、事故・災害等の緊急時の対応策についての取組を進める必要がある。</p> <p>○情報セキュリティ管理（No.47）</p> <p>・情報セキュリティポリシーに基づきシステム機器の安全確保を図り、個人情報及び企業情報等の流出防止やデータの保全等、情報資産の管理を行っていたものの、職員による不正に入手したソフトウェアの業務利用の事実が発覚したことや、複数の外部あてにメールアドレスが流出する事故が発生したことから、2評定とする。<u>引き続き、</u>情報セキュリティポリシーに基づき、<u>IT資産管理システム</u></p> | <p></p> <p>P16 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> <p>P16 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> <p>P16 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> |

| 業務実績（案）に関する評価結果（令和5年9月） | 業務実績に関する評価結果（案）（令和6年4月） | 修正理由 |
|--|--|---|
| <p>を図るとともに、職員に対する研修・注意喚起を繰り返し行うことなどにより、部外者の不正なアクセス、職員等による改ざん・漏えいを防止するなど、情報資産の管理対策に真摯に取り組む必要がある。</p> <p>(略)</p> <p>3 項目別詳細</p> <p>(略)</p> <p>(3) 項目別評価結果</p> <p>(略)</p> <p>2 内部統制の整備</p> <p>(1) コンプライアンスの徹底</p> <p>中期計画の取組が順調とはいえないので、2とする。 ・毎年度、本部通知等により、法令遵守や不正行為の防止に取り組んだところであるが、3年間で酒気帯び運転が1件、速度超過が1件、不正に入手したソフトウェアの業務利用が1件、無断欠勤が1件発生した。<u>今後は、コンプライアンスの徹底に資する取組を繰り返し実施し、全職員に対して法令遵守意識の徹底を図る必要がある。</u></p> <p>(2) 安全確保・リスク管理</p> <p>中期計画の取組が順調とはいえないので、2とする。 ・「道総研安全衛生管理規程」、「新型コロナウイルス感染症対策業務継続計画（BCP）」等に基づき、職員の安全及び健康の確保を図る取組を実施するとともに、安全管理の体制強化をはじめ、職員の安全確保・リスク管理に資する取組を実施しているものの、令和3年度に林業試験場内で作業中の職員が事故により死亡するという重大な労働災害が発生した。この労働災害を契機に組織全体で取組を進めている安全管理体制のより一層の強化について引き続き<u>進めていくとともに、イベント等の開催にあたっては事故等の発生を未然に防止し、事故・災害等の緊急時の対応策についての取組を進める必要がある。</u></p> | <p><u>を構築し運用を開始しているところであり、引き続き</u>システム機器の安全確保を図るとともに、職員に対する研修・注意喚起を繰り返し行うことなどにより、部外者の不正なアクセス、職員等による改ざん・漏えいを防止するなど、情報資産の管理対策に真摯に取り組む必要がある。</p> <p>(略)</p> <p>3 項目別詳細</p> <p>(略)</p> <p>(3) 項目別評価結果</p> <p>(略)</p> <p>2 内部統制の整備</p> <p>(1) コンプライアンスの徹底</p> <p>中期計画の取組が順調とはいえないので、2とする。 ・毎年度、本部通知等により、法令遵守や不正行為の防止に取り組んだところであるが、3年間で酒気帯び運転が1件、速度超過が1件、不正に入手したソフトウェアの業務利用が1件、無断欠勤が1件発生した。<u>管理職員による職場研修の実施などにも取り組んでいるところであるが、今後は、引き続き</u>コンプライアンスの徹底に資する取組を繰り返し実施し、全職員に対して法令遵守意識の徹底を図る必要がある</p> <p>(2) 安全確保・リスク管理</p> <p>中期計画の取組が順調とはいえないので、2とする。 ・「道総研安全衛生管理規程」、「新型コロナウイルス感染症対策業務継続計画（BCP）」等に基づき、職員の安全及び健康の確保を図る取組を実施するとともに、安全管理の体制強化をはじめ、職員の安全確保・リスク管理に資する取組を実施しているものの、令和3年度に林業試験場内で作業中の職員が事故により死亡するという重大な労働災害が発生した。この労働災害を契機に、<u>新たに「安全管理者会議」を設置するなど、組織全体で取組を進めている安全管理体制のより一層の強化について進めているところであるが、引き続き進めていくとともに、イベント等の開催にあたっては事故等の発生を未然に防止し、事故・災害等の緊急時の対応策についての取組を進める必要がある。</u></p> | <p>修正理由</p> <p>P 3 3 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> <p>P 3 4 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> |

| 業務実績（案）に関する評価結果（令和5年9月） | 業務実績に関する評価結果（案）（令和6年4月） | 修正理由 |
|--|---|--|
| <p>(3) 情報セキュリティ管理 中期計画の取組が順調とはいえないので、2とする。 ・情報セキュリティポリシーに基づきシステム機器の安全確保を図り、個人情報及び企業情報等の流出防止やデータの保全等、情報資産の管理を行っていたものの、職員による不正に入手したソフトウェアの業務利用の事実が発覚したことや、複数の外部あてにメールアドレスが流出する事故が発生した。<u>引き続き</u>、情報セキュリティポリシーに基づき、システム機器の安全確保を図るとともに、職員に対する研修・注意喚起を繰り返し行うことなどにより、部外者の不正なアクセス、職員等による改ざん・漏えいを防止するなど、情報資産の管理対策に真摯に取り組む必要がある。</p> <p>(略)</p> <p>4 参考</p> <p>(略)</p> <p>(2) 評価の実施者 北海道知事 総合政策部次世代社会戦略局科学技術振興担当局長 総合政策部次世代社会戦略局科学技術振興課長 環境生活部環境保全局環境政策課長 経済部産業振興局産業振興課長 経済部資源エネルギー局資源エネルギー課長 <u>経済部食関連産業局食産業振興課食ブランド担当課長</u> 農政部生産振興局技術普及課長 <u>水産林務部水産局水産振興課長</u> 水産林務部林務局森林整備課長 水産林務部林務局林業木材課長 建設部住宅局建築指導課長</p> <p>(3) 地方独立行政法人北海道立総合研究機構運営支援検討会議の開催状況</p> <p>○令和5年7月18日 令和5年度第1回検討会議 ・令和4年度及び第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に係る評価方法等について</p> <p>○令和5年7月27日 令和5年度第2回検討会議 ・令和4年度及び第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績</p> | <p>(3) 情報セキュリティ管理 中期計画の取組が順調とはいえないので、2とする。 ・情報セキュリティポリシーに基づきシステム機器の安全確保を図り、個人情報及び企業情報等の流出防止やデータの保全等、情報資産の管理を行っていたものの、職員による不正に入手したソフトウェアの業務利用の事実が発覚したことや、複数の外部あてにメールアドレスが流出する事故が発生した。<u>引き続き</u>、情報セキュリティポリシーに基づき、<u>IT資産管理システムを構築し運用を開始しているところであり、引き続き</u>システム機器の安全確保を図るとともに、職員に対する研修・注意喚起を繰り返し行うことなどにより、部外者の不正なアクセス、職員等による改ざん・漏えいを防止するなど、情報資産の管理対策に真摯に取り組む必要がある。</p> <p>(略)</p> <p>4 参考</p> <p>(略)</p> <p>(2) 評価の実施者 北海道知事 総合政策部次世代社会戦略局科学技術振興担当局長 総合政策部次世代社会戦略局科学技術振興課長 環境生活部環境保全局環境政策課長 経済部産業振興局産業振興課長 経済部資源エネルギー局資源エネルギー課長 <u>経済部食関連産業局食産業振興課長</u> 農政部生産振興局技術普及課長 <u>水産林務部森林海洋環境局成長産業課長</u> 水産林務部林務局森林整備課長 水産林務部林務局林業木材課長 建設部住宅局建築指導課長</p> <p>(3) 地方独立行政法人北海道立総合研究機構運営支援検討会議の開催状況</p> <p>○令和5年7月18日 令和5年度第1回検討会議 ・令和4年度及び第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に係る評価方法等について</p> <p>○令和5年7月27日 令和5年度第2回検討会議 ・令和4年度及び第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績</p> | <p>修正理由</p> <p>P 3 4 ・令和5年度実績を反映した追加修正</p> <p>P 3 9 ・組織変更による修正</p> |

| 業務実績（案）に関する評価結果（令和5年9月） | 業務実績に関する評価結果（案）（令和6年4月） | 修正理由 |
|---|---|--|
| <p>報告書等に係る道総研へのヒアリング</p> <p>○令和5年8月10日～18日 令和5年度第3回検討会議（書面開催） ・令和4年度道総研の業務実績に関する評価結果（案）の審議・決定</p> <p>○令和5年9月15日 令和5年度第4回検討会議 ・第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績（案）に関する評価結果（案）及び第3期中期目標期間の終了時の検討について（素案）の審議・決定</p> <p>（略）</p> | <p>報告書等に係る道総研へのヒアリング</p> <p>○令和5年8月10日～18日 令和5年度第3回検討会議（書面開催） ・令和4年度道総研の業務実績に関する評価結果（案）の審議・決定</p> <p>○令和5年9月15日 令和5年度第4回検討会議 ・第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績（案）に関する評価結果（案）及び第3期中期目標期間の終了時の検討について（素案）の審議・決定</p> <p><u>○令和6年4月24日 令和6年度第1回検討会議</u> <u>・第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果（案）の審議</u></p> <p>（略）</p> | <p>修正理由</p> <p>P39 ・令和6年度実施分について追加</p> |
| <p>（5）北海道地方独立行政法人評価委員会・試験研究部会の開催状況</p> <p>○令和5年4月26日 令和5年度第1回評価委員会・第1回試験研究部会 ・評価委員会委員長及び副委員長の選任 ・試験研究部会委員の指名 ・試験研究部会長の選任、部会長代理の指名 ・地方独立行政法人北海道立総合研究機構評価基本方針、中期目標期間評価実施要領及び中期目標期間見込評価実施要領の改正（報告）</p> <p>○令和5年7月27日 令和5年度第2回試験研究部会 ・研究成果プレゼンテーション ・令和4年度及び第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績報告書等に係る道総研へのヒアリング</p> <p>○令和5年8月4日 令和5年度第3回試験研究部会 ・令和4年度道総研の業務実績に関する評価結果（案）及び第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績（案）に関する評価結果（案）に対する評価委員会意見の審議・決定</p> | <p>（5）北海道地方独立行政法人評価委員会・試験研究部会の開催状況</p> <p>○令和5年4月26日 令和5年度第1回評価委員会・第1回試験研究部会 ・評価委員会委員長及び副委員長の選任 ・試験研究部会委員の指名 ・試験研究部会長の選任、部会長代理の指名 ・地方独立行政法人北海道立総合研究機構評価基本方針、中期目標期間評価実施要領及び中期目標期間見込評価実施要領の改正（報告）</p> <p>○令和5年7月27日 令和5年度第2回試験研究部会 ・研究成果プレゼンテーション ・令和4年度及び第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績報告書等に係る道総研へのヒアリング</p> <p>○令和5年8月4日 令和5年度第3回試験研究部会 ・令和4年度道総研の業務実績に関する評価結果（案）及び第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績（案）に関する評価結果（案）に対する評価委員会意見の審議・決定</p> | |

| 業務実績（案）に関する評価結果（令和5年9月） | 業務実績に関する評価結果（案）（令和6年4月） | 修正理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|--------|--------|-------|---|----|----|---|----|----|--------|-----|----|----|-----|--------|-----|----|----|-----|--------|-----|----|----|-----|------------|-----|---|----|-----|--------|----|---|---|----|---|-----|-----|-----|-------|--|----|-----|--------|-----|---|----|----|---|----|----|--------|-----|----|----|-----|--------|-----|----|----|-----|--------|----|----|----|-----|------------|-----|---|----|-----|--------|----|---|---|----|---|-----|-----|-----|-------|---|
| <p>○令和5年8月28日 令和5年度第2回評価委員会 ・令和4年度道総研の業務実績に関する評価結果（案）に対する評価委員会意見の報告</p> <p>（略）</p> <p>5 職員の状況（令和4年4月1日現在）</p> <p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="212 614 974 837"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>研究職</th> <th>船員・技師等</th> <th>事務職</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>21</td> <td>—</td> <td>41</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>農業研究本部</td> <td>257</td> <td>88</td> <td>64</td> <td>409</td> </tr> <tr> <td>水産研究本部</td> <td>145</td> <td>50</td> <td>34</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>森林研究本部</td> <td>100</td> <td>13</td> <td>30</td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>産業技術環境研究本部</td> <td>175</td> <td>1</td> <td>33</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>建築研究本部</td> <td>37</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>735</td> <td>152</td> <td>211</td> <td>1,098</td> </tr> </tbody> </table> | 区分 | 研究職 | 船員・技師等 | 事務職 | 計 | 本部 | 21 | — | 41 | 62 | 農業研究本部 | 257 | 88 | 64 | 409 | 水産研究本部 | 145 | 50 | 34 | 229 | 森林研究本部 | 100 | 13 | 30 | 143 | 産業技術環境研究本部 | 175 | 1 | 33 | 209 | 建築研究本部 | 37 | — | 9 | 46 | 計 | 735 | 152 | 211 | 1,098 | <p>○令和5年8月28日 令和5年度第2回評価委員会 ・令和4年度道総研の業務実績に関する評価結果（案）に対する評価委員会意見の報告</p> <p><u>○令和6年4月23日 令和6年度第1回試験研究部会</u> <u>・第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果（案）に対する評価委員会意見の審議・決定</u></p> <p>（略）</p> <p>5 職員の状況（令和5年6月1日現在）</p> <p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="1030 614 1792 837"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>研究職</th> <th>船員・技師等</th> <th>事務職</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本部</td> <td>21</td> <td>—</td> <td>40</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>農業研究本部</td> <td>261</td> <td>90</td> <td>63</td> <td>414</td> </tr> <tr> <td>水産研究本部</td> <td>145</td> <td>47</td> <td>34</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>森林研究本部</td> <td>97</td> <td>13</td> <td>29</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>産業技術環境研究本部</td> <td>176</td> <td>2</td> <td>32</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>建築研究本部</td> <td>34</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>734</td> <td>152</td> <td>207</td> <td>1,093</td> </tr> </tbody> </table> | 区分 | 研究職 | 船員・技師等 | 事務職 | 計 | 本部 | 21 | — | 40 | 61 | 農業研究本部 | 261 | 90 | 63 | 414 | 水産研究本部 | 145 | 47 | 34 | 226 | 森林研究本部 | 97 | 13 | 29 | 139 | 産業技術環境研究本部 | 176 | 2 | 32 | 210 | 建築研究本部 | 34 | — | 9 | 43 | 計 | 734 | 152 | 207 | 1,093 | <p>修正理由</p> <p>P40 ・令和6年度実施分について追加</p> <p>P41 ・時点修正</p> |
| 区分 | 研究職 | 船員・技師等 | 事務職 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本部 | 21 | — | 41 | 62 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業研究本部 | 257 | 88 | 64 | 409 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水産研究本部 | 145 | 50 | 34 | 229 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 森林研究本部 | 100 | 13 | 30 | 143 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 産業技術環境研究本部 | 175 | 1 | 33 | 209 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建築研究本部 | 37 | — | 9 | 46 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 735 | 152 | 211 | 1,098 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | 研究職 | 船員・技師等 | 事務職 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本部 | 21 | — | 40 | 61 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 農業研究本部 | 261 | 90 | 63 | 414 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水産研究本部 | 145 | 47 | 34 | 226 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 森林研究本部 | 97 | 13 | 29 | 139 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 産業技術環境研究本部 | 176 | 2 | 32 | 210 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建築研究本部 | 34 | — | 9 | 43 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 734 | 152 | 207 | 1,093 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |